

# 鏡川流域パートナーシップだより No.56 R5.6.6



鏡川流域  
パートナーシップ  
KAGAMIKAWA LOCAL AREA PARTNERSHIP

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 「里山歩きとホタルのタベ in 久重」開催！

6月3日(土)に、「**里山歩きとホタルのタベ in 久重**」を開催しました！(主催：高知市工石山青少年の家 共催：高知市新エネルギー・環境政策課)

鏡川の上流域に位置し、豊かな里山の風景が広がる久重地域で開催されたこのイベントには、高知市内在住の親子 27名の参加がありました。日中は、草花を採集しながら里山散策をしたり、採集した草花で「里山ビンゴ」に挑戦したりと、里山の豊かな自然に触れるプログラムを実施しました。日が暮れる頃から、久礼野公民館でホタルの生態や久重地域の里山づくりの取組に関する学習会を行ったあと、再び里山を歩いてホタルウォッチングを行いました！昼と夜でそれぞれ違った雰囲気を持つ里山の風景に触れることで、鏡川流域の自然の魅力を確認することができました。



久重地域に関わる小中校生で結成された「久重naturalチーム」の皆さんも大活躍！日頃から久重地域の里山保全に取り組んでいるため、「里山ビンゴ」の採点や草花の説明もしっかりとこなせており、頼もしかったです！

学習会では、橋詰辰男さん(久重地域連携協議会里山部会)によるホタルの棲む里山づくりについての講義、久重naturalチームによる里山保全の取組の発表、石川憲一先生(高知県立高知海洋高等学校・高知県ホタルネットワーク)によるホタルの生態についての講義がありました。



学習会でホタルや里山に関する情報を勉強している間に日が落ち、いよいよホタルを見る準備が整いました！

参加者の皆さんは、日中に散策した里山の川辺や草陰に数えきれないほどのホタルが飛び交う様子を見て、とても驚いていました。このように無数のホタルが飛び交う環境は、地域の方々の里山保全活動があってこそ保たれています。鏡川流域の魅力的な自然や、自然に関わる方々の活動が今後も続くよう、鏡川流域関係人口創出事業の取組やまちのコイン「ぼっちり」などを活用しながら今後も連携していきたいです。



参加者の方々がイベント限定の「ぼっちり」の体験チケットを利用し、イベントの感想を送ってくださいました！



草刈りをして環境を整えていることを知り、勉強になりました。夜には無数のホタルが飛び交い、幻想的な時間を過ごしました。久重地域の皆さん、ありがとうございました。

現地を地元の人と歩いて楽しかった。橋詰先生は植物の名前やホタルの生態まで何でも知っていてびっくり！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながる山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>